

平成 27 年度 国立中央青少年交流の家

## 青少年教育指導者専門研修

平成 28 年 1 月 19 日（火）～1 月 22 日（金） 3 泊 4 日

### ○目的

青少年教育施設や教育行政及び地域等において、青少年の健全育成に携わる指導者に求められる専門的な知識・技能を習得し、指導者としての資質・能力の向上を図る。



### ○参加者

青少年の健全育成に携わる者 計 29 名（日帰り参加 10 名）

### ○事業の内容

#### （1）「子供や若者にとっての青少年教育とは」（講義）

講師：国立中央青少年交流の家 所長 服部 英二



ネット依存の事業を通して気づいたことから、改めて「青少年教育とは何か」についての講義を受けた。現代の子供や若者の素晴らしい点や危惧される点、それらを取り巻く環境から現状や課題を理解し、青少年期の体験が人生の基盤となることを再確認した。また、子供や若者を「裸の王様」にしない、青少年教育の特質を忘れないなど、青少年教育指導者に求められる役割も学び、実践に活かせるようにした。

#### （2）「学びの場づくり」（実習） 講師：国立中央青少年交流の家 企画指導専門職 小見山 浩二

4 日間の研修を始めるにあたって、お互いのことを知ることをねらったアクティビティを行い、参加者の緊張を和らげ、能動的な参加を促した。今回の研修のキーワードである「ことば」にも注目し、ともに学ぶ仲間意識の醸成を試みた。



#### （3）「コミュニケーションとアサーティブ」（講義・実習）

講師：MIW 工房 コミュニケーション・ナビゲーター 姉帯 美和子 氏



実習を中心に研修を進め、自分のことも相手のことも同じように大切にアサーティブの考え方を理解した。参加者である青少年教育指導者は、関わる一人ひとりの気持ちや意見を尊重したり、チームワークを円滑にしたりするだけでなく、自分自身を尊重することも大切だと学んだ。自分を見つめ、自分の態度や表現のクセに気づくことで、よりよい人間関係を築くコミュニケーションを始めるきっかけとなった。

#### (4)「地域における子供の居場所」(事例研究・演習)

ミーティングファシリテーター：(公財)キープ協会環境教育事業部 課長 鳥屋尾 健 氏

事例1「第3の居場所としての図書館」発表者：鎌倉市中央図書館 館長 菊池 隆 氏



<事例1の概要>

「自殺をしてほしくない。図書館は居場所となりうる。」という趣旨のツイートを発信した鎌倉市中央図書館の館長から、ツイート後の反響や日頃取り組んでいることなどの発表を聴いた。個人の生活を支える場所としての「サードプレイス」という概念を学び、参加者全員で青少年にとっての第3の居場所について考えた。

#### 事例2「冒険遊び場の実践～遊育という名の教育」

発表者：日本冒険遊び場づくり協会 事務局長 天野 秀昭 氏

<事例2の概要>

「プレーパーク」は、子供がやりたいことを見守っていく公園である。教育の主体は大人であるが、「遊育」の主体は子供であり、遊ぶことで自分を成長させることができるという考え方に、多くの参加者が共感をした。禁止事項がないのにけががほとんどない理由として、「子供は限界への挑戦から本当の危険を学ぶからである。」という説明に納得した。



#### (5)「子供にとっての体験や読書」(講演) 講師：和歌山大学附属図書館 館長 渡部 幹雄 氏



単に本を借りたり調べものをしたりする図書館から、他の教育施設と連携し、人が集いやすい図書館づくりを追求している熱い思いを語っていただいた。青少年期の豊かな自然体験が、図書館に携わってからの仕事に活かしていることを、講師の実体験から述べられ、参加者は、本を読むことと体験的に学んでいくこととのバランスが大切であることを理解した。

##### 《受講生の感想から》

- 快適に学ぶことができました。アウトプットできることばかりで、大変充実しました。
- 今回のように他の参加者と交流しやすい内容だと、研修にもずっと前向きになれる。4日間が短く感じた。
- 青少年教育に携わる指導者の研修は決して多くないので、継続を望みます。

##### 《成果と課題》

- 実践で使える手法を数多く習得し、青少年教育の指導者・リーダーとしての資質・能力向上につながる研修となった。
- 長く経験を積んだ指導者にとっても、初めて体験する研修方法や新たな切り口からの講義によって、自分の中に出来上がっていた「枠組み」を再考する機会となった。
- 参加者にはリピーターもおり、常に新しい手法を求めてこの研修に参加している。また、青少年教育施設の職員だけでなく、他業種の方が参加するともっと交流できるという意見もあった。研修内容と共に、広報の仕方も工夫していく必要がある。